



## 2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月13日

上場会社名 Retty株式会社  
コード番号 7356 URL <http://corp.retty.me/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員CEO (氏名) 武田 和也  
問合せ先責任者 (役職名) 財務・経営企画部長 (氏名) 成澤 毅記 TEL 03(6822)4880  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第3四半期の業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,155	△2.1	△92	—	△95	—	△98	—
2023年9月期第3四半期	1,180	△7.8	△472	—	△480	—	△556	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	△6.59	—
2023年9月期第3四半期	△39.18	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,172	296	25.1
2023年9月期	1,271	392	30.9

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 294百万円 2023年9月期 392百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,570	0.9	△85	—	△90	—	△95	—	△6.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月13日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	14,910,374株	2023年9月期	14,910,374株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	18,836株	2023年9月期	12,251株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	14,893,015株	2023年9月期3Q	13,870,508株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要情報等 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(四半期貸借対照表に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2023年、当初においては新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が残存しておりましたが、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類相当から5類へ移行したことを契機に飲食業界の景気も回復傾向にあります。

この様な状況下、飲食店支援サービスについては、当第3四半期累計期間である2023年10月から2024年6月においてお店会員数（固定＋従量）は、一部残存していた解約率の高い特定代理店経由での店舗の整理も進み、6,958件から6,722件に減少しております。一方で足元では2024年5月以降純増に転じており、2024年7月の速報値では、6,843件に増加しております。また前事業年度より取り組んでいる販売商品戦略の変更や商品のリニューアルにより、LTV（※）の高い商品の販売比率が増加し、中長期的な売上向上に資する取り組みが着実に進んでおり、ARPU（月額固定支払いのあるお店会員の平均支払価格）は増加傾向を継続しております。さらに、ネット予約数の増加に伴い従量課金による売上が増加しており、飲食店支援サービスの売上は、特定代理店を除外した数値に加え、これらを含めた飲食店支援サービス全体の売上においても前四半期比で増加に転じております。

広告コンテンツについては、ユーザー数についても新型コロナウイルス影響前との比較では未だ完全に回復したとは言えない状況の中でも徐々に回復している一方で、広告案件での受注が計画対比でビハインドしたことにより、売上は前四半期と比較して減少しています。

上記の結果として、当第3四半期累計期間における売上高は飲食店支援サービス870百万円、広告コンテンツ285百万円、計1,155百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

費用面では、売上原価は346百万円（前年同期比29.8%減）、販売費及び一般管理費は901百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

また、新型コロナウイルス特別貸付に係る利子補給金等により営業外収益3百万円（前年同期比22.8%減）、支払利息等により営業外費用6百万円（前年同期比49.0%減）を計上しております。

上記の結果として、当第3四半期累計期間における営業損失は92百万円（前年同期は472百万円の営業損失）、経常損失は95百万円（前年同期は480百万円の経常損失）、四半期純損失は98百万円（前年同期は556百万円の四半期純損失）となりました。また、2024年7月の月次決算では0.2百万円の単月営業黒字を達成しております。

当社は実名型グルメプラットフォーム「Retty」運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

（※）「顧客生涯価値」を意味するLife Time Valueの略称。飲食店1件当たり、当社と取引を開始してから終了するまでの期間にどれだけの売上をもたらすかを表す指標のこと。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,120百万円となり、前事業年度末に比べ103百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少81百万円によるものです。また、当第3四半期会計期間末における固定資産は51百万円となり、前事業年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主に、長期前払費用の増加4百万円によるものです。上記の結果として、総資産は1,172百万円となり、前事業年度末に比べ98百万円減少いたしました。

#### （負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は424百万円となり、前事業年度末に比べ98百万円増加いたしました。これは主に、借入によって短期借入金が増加した129百万円増加したことによるものです。また、当第3四半期会計期間末における固定負債は451百万円となり、前事業年度末に比べ100百万円減少いたしました。これは、一部が1年内返済予定の長期借入金へ振り替えられたことにより長期借入金が増加した100百万円増加したことによるものです。上記の結果として、総負債は876百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円減少いたしました。

#### （純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は296百万円となり、前事業年度末に比べ96百万円減少いたしました。これは、当第3四半期累計期間において四半期純損失98百万円を計上したことにより利益剰余金が98百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期に関しては、飲食店支援サービスにおける特定代理店の整理が進み、有料お店会員店舗数が2024年5月以降は純増に転じ、7月速報値では月次営業黒字化が実現できた一方で、当初計画に比べて有料お店会員の新規参画の水準が限定的であったことなどにより、売上・利益共に想定を下回る見通しとなっており、業績予想を変更しております。主な要因は次の通りです。

(飲食店支援サービス売上) 代理店領域において想定よりも新規参画店舗数の回復・成長が限定的であった結果、有料お店会員店舗数の純増タイミングが3ヶ月遅れていることにより、売上が計画比で減少した

(広告コンテンツ売上) 広告コンテンツに関して、営業活動が計画対比で不振であったことや、一部の案件の後ろ倒しが発生したことにより第3四半期における売上が計画比で大幅に減少した

(広告コンテンツ原価) 提供ソリューションが複数あり、それらの原価率が大きく異なる広告コンテンツにおいて、今期受注した案件の商品ミックスが計画策定時に想定していた商品ミックスとは異なるものとなったため、原価が計画比で増加した

修正後は、売上高1,570百万円(前事業年度比0.9%増)、営業損失85百万円(前事業年度は営業損失524百万円)、経常損失90百万円(前事業年度は経常損失535百万円)、当期純損失95百万円(前事業年度は当期純損失612百万円)となります。

詳細は、本日発表の「通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要事項等

当社は飲食店から収受する定額のサービス利用料が主な収益となっております。COVID-19による当社事業への影響は徐々に小さくなっているものの、当事業年度においては解約率の高い特定代理店の影響により、最重要KPIであるお店会員(固定)プランにおける有料保有店舗数は前四半期比で依然減少傾向が続いております。結果として当社は継続して売上高が減少、またそれに伴い営業損失及び当期純損失を継続して計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該状況の解消または改善のために、以下のような対応策を講じております。

① 飲食店支援サービスの売上純増

上述特定代理店の整理が進んでおり、既に飲食店支援サービスにおける当該代理店の売上比率は2%弱程度まで減少しております。また、特定代理店を除いた飲食店支援サービス売上も純増傾向が続いていることや高単価商品比率の増加等のLTV改善施策を継続していることから、飲食店支援サービス売上純増の兆しが見え始めております。当社は今後も特定代理店を除いた飲食店支援サービス売上増加を推進していく為に新規代理店の開拓や高単価商品比率増加によるLTV改善を引き続き実施していくことで2024年9月期中での売上純増を目指して参ります。

② コストコントロールの継続

前事業年度において実施した、オフィス移転による賃料の減少及び退職による自然減や他社への出向による人件費削減により、固定費を大きく削減しております。当社としては引き続きこの筋肉質なコスト体制を維持することで早期黒字化を達成しやすい状態を目指して参ります。

上記対応策により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	872,606	791,121
売掛金	193,976	175,401
立替金	109	41
前払費用	160,544	154,752
その他	13,126	18,714
貸倒引当金	△16,093	△19,324
流動資産合計	1,224,270	1,120,706
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	32,440	23,224
減価償却累計額	△17,463	△8,421
減損損失累計額	△14,976	△14,803
工具、器具及び備品 (純額)	-	-
有形固定資産合計	-	-
投資その他の資産		
破産更生債権等	8,221	9,166
長期前払費用	33,160	37,981
敷金及び保証金	12,983	12,983
その他	69	69
貸倒引当金	△7,496	△8,354
投資その他の資産合計	46,938	51,844
固定資産合計	46,938	51,844
資産合計	1,271,208	1,172,550

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	8,026	137,695
1年内返済予定の長期借入金	141,761	140,074
未払金	54,455	39,379
未払費用	21,713	23,721
未払法人税等	2,290	1,717
預り金	23,121	22,738
前受収益	4,882	11,258
賞与引当金	48,683	22,370
その他	21,512	25,634
流動負債合計	326,446	424,589
固定負債		
長期借入金	551,816	451,515
固定負債合計	551,816	451,515
負債合計	878,262	876,104
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,560	33,560
資本剰余金		
資本準備金	971,658	971,658
資本剰余金合計	971,658	971,658
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△612,200	△710,305
利益剰余金合計	△612,200	△710,305
自己株式	△248	△248
株主資本合計	392,770	294,664
新株予約権	175	1,781
純資産合計	392,945	296,446
負債純資産合計	1,271,208	1,172,550

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	1,180,237	1,155,512
売上原価	493,907	346,612
売上総利益	686,330	808,899
販売費及び一般管理費	1,158,914	901,579
営業損失(△)	△472,584	△92,679
営業外収益		
助成金収入	2,750	2,687
償却債権取立益	152	407
その他	1,107	-
営業外収益合計	4,009	3,095
営業外費用		
支払利息	7,064	5,683
為替差損	121	-
固定資産除却損	3,126	122
その他	2,038	493
営業外費用合計	12,352	6,299
経常損失(△)	△480,927	△95,883
特別損失		
減損損失	74,266	504
特別損失合計	74,266	504
税引前四半期純損失(△)	△555,193	△96,387
法人税等	1,717	1,717
四半期純損失(△)	△556,910	△98,105

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)

2022年12月16日を払込期日とする第三者割当による新株式の発行2,904,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ342,672千円増加しております。

また、2022年12月23日開催の第12回定時株主総会の決議に基づき、2023年2月7日付で資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の効力が生じ、資本金が357,755千円、資本剰余金が501,925千円減少し、利益剰余金が859,681千円増加しました。

この結果、当第3四半期累計期間における新株予約権の行使による新株式の発行を含めて、当第3四半期会計期間末において資本金が33,560千円、資本剰余金が971,658千円となっております。

II 当第3四半期累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期貸借対照表に関する注記)

当座貸越契約

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
当座貸越極度額の総額	700,000千円	700,000千円
借入実行残高	8,026	137,695
差引額	691,974	562,305

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、実名型グルメプラットフォーム「Retty」運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。